

～はじめに～

昨年8月に行われました堀越道場ロシア海外合宿の際、在サンクトペテルブルグ領事館の総領事・副領事がセミナーを見学されました。その後、領事館より堀越道場に日露武道交流年での若手合気道家派遣の依頼があり、堀越道場より若手合気道家20名がロシアに派遣されることが正式に外務省でも採用されることとなりました。

約1週間の日程で、現地での合気道デモンストレーション、サンクトペテルブルグ市民との合同稽古、領事館表敬訪問、市内視察等を行う予定です。

事業内容

(1) 日程

平成26年8月9日(土)成田発～8月16日(土)成田着

(2) 参加者

堀越道場 若手合気道家グループ20名(16歳～40歳)

高校生 6名、大学生 6名、社会人 8名

The screenshot shows the official website for the 2014 Japanese-Japanese Martial Arts Exchange Year (2014年「日露武道交流年」). The page is in Japanese and features the following elements:

- Header:** Ministry of Foreign Affairs of Japan logo and navigation links in Japanese and English.
- Breadcrumbs:** トップページ > 各国・地域情報 > 欧州(NIS諸国を含む) > 2014年「日露武道交流年」
- Main Title:** 欧州(NIS諸国を含む) 2014年「日露武道交流年」
- Date:** 平成26年6月11日
- Social Media:** Twitter (213), Facebook (531), and Email icons.
- Logo:** A stylized logo for the 2014 exchange year, featuring a red and blue heart shape with the year 2014 below it.
- Text:** A paragraph explaining the significance of the exchange year, mentioning the 2013 visit of the Japanese Prime Minister to Russia and the agreement between the Japanese and Russian governments.
- Section 1:** 「日露武道交流年」記念事業カレンダー (Calendar of commemorative events).
- Text:** A note stating that the commemorative events are those recognized by the Japanese Ministry of Foreign Affairs as of the current date.
- Section 2:** 記念事業の認定 (Recognition of commemorative events).

I. 事業の概要

1. 趣旨

この度、日露両国の政府間協定にもとづく日露青年交流事業の一環として、「堀越道場合気道交流」プログラムを実施します。日露青年交流事業は、プログラムを通じて、日本人とロシア人がお互いに対する理解と興味をより深めること、将来に続くロシア人との友人関係を築くことを主たる目的としています。

2. 主催

- 合気道 堀越道場
- サンクトペテルブルク 合気道クラブ セイメイ
- 日露青年交流センター

<日露武道交流年>

2013年4月、我が国の総理大臣として10年ぶりにロシアを公式訪問した安倍総理は、プーチン大統領との間で行われた日露首脳会談において、スポーツ分野における日露交流を発展させる重要性につき一致し、2014年を「日露武道交流年」とすることに合意しました。

日露両国は、この「日露武道交流年」を通じ、武道という切り口での日露両国民の交流の活性化と相互理解を促進していく所存です。*外務省HPより抜粋

日露青年交流センターについて

1998年11月、日露首脳会談（小渕総理、エリツィン大統領）において両国首脳は日露間の国民レベルの人的交流を抜本的に拡充することで合意し、1999年5月、両国の政府間協定に基づき国際機関として設置された日露青年交流委員会の事務局として日露青年交流センターが設立されました。

2008年4月、両国首脳（福田総理、プーチン大統領）は、日露青年交流の規模を一層拡大して、日露合わせて毎年500名規模の交流を実施することで合意しました。

2012年にこの目標が達成されたことを踏まえ、2013年4月の日露首脳会談で両国首脳（安倍総理、プーチン大統領）は、青年交流が日露関係の着実な発展のために特別な意味を持つことを確認し、両国間の青年交流をさらに拡大することを支持しました。

日露青年交流センターは日露青年交流委員会の決定に基づき、

- (1) 交流グループの短期招聘・派遣事業、
- (2) ロシアへの日本語教師派遣事業、
- (3) 両国の若手研究者等に対するフェロシップ供与事業

の3つを主な事業として、1999年7月の事業開始以来、これまでに約4,400人に及ぶ日露の青年交流を実施しています。

合気道クラブ セイメイについて

ドミトリー・チェルニャエフ上級指導員（4段）によって1998年に結成されました。クラブ名は生命という言葉からとったものです。2005年1月に堀越先生がサンクトペテルブルクでセイメイクラブでのセミナーを指導されたのを皮切りに、堀越道場とセイメイクラブとの関係が続いています。その間、セイメイクラブの会員で合気道初段以上の資格を有する人は20名を超え、現在メンバーは約100名います。

以下、合気道クラブ・セイメイのHPより。

「セイメイとは、命、そしてあらゆるものの本質である。気と呼吸をあやつることで、「生命」、つまり命を有しているのである。サンクトペテルブルクの合気道クラブに「セイメイ」の名前が選ばれたのは偶然ではない。合気道は単に武道であるだけでなく、

もっと高いレベルにおける哲学であり、それはあらゆる問題への取り組み方を左右するものである。合気道は、命そのものである。

とても単純であると同時に、大変複雑で、どのような手段を用いても完全に書き表すことができないものだ。」